

# 学術大会 日程表

令和7年2月23日(日)

統一テーマ 「健康・スポーツ・教育の連携による幼少年期からの生きがい創り」  
 メインテーマ 「well-being 向上の実践」

	801 室(A 会場)	802 室(B 会場)	701 室(C 会場)	902 室(トレーニング室)
9:00-10:00 準備				
10:00- 受付 9 階				
11:00-11:30 理事長挨拶 大会長講演	柴岡三千夫 理事長(日本ウェルネススポーツ大学理事長) 柴岡信一郎 大会長(日本ウェルネススポーツ大学学長) 座長 大津一義(日本ウェルネススポーツ大学教授)			
11:30-12:20 特別講演	「パリオリンピック出場 梶原悠未における well-being の向上 ～27年間二人三脚でサポートする母親の視点も加えて～」 梶原悠未(日本ウェルネススポーツ大学専任講師) 梶原有里(TEAM Yumi GM) 座長 柴岡信一郎 大会長(日本ウェルネススポーツ大学学長)			
12:20-13:15 昼休み・昼食				ワークショップ 4
13:15-13:55 ワークショップ 1・2・3・4	ワークショップ 1 Well-being 向上を目指す生涯 健康教育の推進 ーSTEAM 教育の視点からー ○山羽教文 大津一義 小松健太郎 菌部正人	ワークショップ 2 SDGs 達成のためのボランティア 活動とウェルビーイング向上 に向けた取組み ○角田弘子	ワークショップ 3 企業における well-being 向上 の重要性 ○平山弘	幼児の運動あそびを通しての 心の健康づくりを中心として  ○山口智之 ※トレーニング室で昼休みを 通して実施
休憩 5 分				
14:00-14:40 口頭発表1 ワークショップ 5・ 6	口頭発表 1 健康・教育領域 座長 菌部正人  「少年が野球を継続して行える 環境づくり」～大学野球の今後の 使命 Well-being 向上のため の手助け～ ○千葉智久  職場における健康教育士の実 践活動ーPP モデルに基づく 健康教育の計画づくりー ○小松健太郎 山羽教文	ワークショップ 5  Well-being 向上のためのライフ スキル形成ー自己認識スキル 形成に着目してー  ○近藤卓 大津一義	ワークショップ 6  e スポーツによるウェルビー イング向上～高齢者および障が い者における事例と今後につ いて～  ○平山実 眞誠一郎	
14:00-14:20				
14:20-14:40				
休憩 5 分				
14:45-15:45 口頭発表 2・3・4	口頭発表 2 健康・教育領域 座長 横山典子 富川力道  トイレ環境の改善によるモンゴ ルの QOL 向上のためのアプロ ーチ ○吉澤智也 Jaraakhai Boldbaatar	口頭発表 3 教育領域 座長 渋井二三男 橋本純 一  祖徠学の地方伝播についてー 荻生徠『論語徴』と庄内藩 『論語』との比較を通してー ○瀬尾邦雄	口頭発表 4 体育・スポーツ領域 座長 鈴木勝彦 武井克時  高校生の陸上競技(フィールド 種目)の変化に関する研究  ○本間一輝 杉町マハウ 温井一裕	
14:45-15:05				
15:05-15:25	公衆衛生学で学んだ知識から 時事問題を見る～学生のレポ ート解説と情報共有～  ○池田啓一 宇佐美則行 木村敏行 佐藤安則	大乘仏教の修行法  ○尹東燦	総合型地域スポーツクラブの 現状と課題ー東京都羽村 市”はむすぼ”を事例として ー ○堀松英紀	
15:25-15:45	「三世代食堂」による健康教 育:官学産連携とポピュレーシ ョンアプローチ  ○木戸直美	外国人留学生が直面する、対 応のある自・他動詞の習得支援 と学力の向上  ○澤野勝巳 渋井二三男	茨城県利根町における高齢 者の縦断的体力変化の現状 についてーきんとれ会(大学 地域貢献)参加者の体力測定 結果からー ○菌部正人 石田良恵 小島和彦 伊藤義朗 大野次男	
休憩 5 分				
15:50-15:55	閉会の辞 鈴木隆広(日本ウェルネススポーツ大学学部長)			
16:00	後片付け			